復興支援
ボランティア活動

2012年11月25日(日)
11:00~16:00

山佐株式会社

▲ ２０１２年１１月２５日　おだがいさまセンター前にて

概　要

2012年11月25日(日)　11:00~16:00

ちぃっちゃなえびす講市の実現

福島第一原発の爆発事故より避難勧告が出たまま１年８ヶ月もの長きにわたり自宅に戻れないでいる福島県富岡町の住民に『元気と希望、そして笑顔を送る』応援プロジェクトを立ち上げました。

富岡町の多くの町民が暮らす、福島県郡山市の富田町若宮前応急仮設住宅に、東北地方の山佐グループの社員がボランティア活動のために集結。

同仮設住宅の運営全般において中心的役割を担っている「おだがいさまセンター」と共催のもと、大正１２年（１９２３年）より続く伝統行事『えびす講市』を復活させる　ミニチュア版『ちぃっちゃなえびす講市』を開催するはこびとなりました。

▲　オープニングセレモニー

シャトルバスの運行

会場となった若宮前応急仮設住宅以外にも、近郊の応急仮設住宅に富岡町の方々が分散して住まわれています。富岡町の皆様に参加して頂けるよう、専用シャトルバスを運行し、特設会場へご来場いただきました。

▲　シャトルバス

特設会場

お祭り会場となった野外特設会場では飲食屋台が軒を連ね、無農薬野菜や手芸品、カレーライス、甘酒、焼きそば、焼き鳥、フランクフルト、各種飲料のほか、特別参加した国際医療福祉大学（栃木・大田原）の学生らによる水餃子の販売・配給が行われ、会場を訪れた６００人以上の人々が真心のこもった食べ物に舌鼓を打ちました。

また、屋内ではボランティア隊による足湯サービスが行われ、来場者の疲れを癒しました。

▲　野外特設会場

概　要

おだがいさまＦＭとラジオ福島　生放送

５００軒、約１１００人が暮らす同仮設住宅の「おだがいさまセンター」内では、災害ＦＭ局『おだがいさまＦＭ』と、共催の『ラジオ福島』が生放送を行い、お祭りの模様を伝えるとともに、福島県内で抜群の知名度を誇る、歌手の普天間かおりさんと、シンガーソングライターの村井敏朗さん、そして吉國執行役員が出演し、『富岡町のテーマソングを作ろう！』の製作ＰＲを行いました。

▲生放送中

そして『ラジオ福島』にてミニライブを生放送。
全国に散らばった富岡町住民の心をつなぐため、富岡町への想いを公募し、『富岡町のテーマソング』を、作曲：村井敏朗さん、作詞：普天間かおりさんのスペシャルコラボで制作し、２０１３年３月に発表いたします。

▶◀ ミニライブ

フィナーレ

屋外特設会場にて、富田踊りの会とエビスさまによる踊りや縁起の良い舞が披露され、フィナーレには、えびす講市恒例の投げ餅・抽選会が行われ、来場者全員にひとときの癒しを提供できました。

▲富田踊りの会

▲投げ餅

SPECIAL COLLABORATION

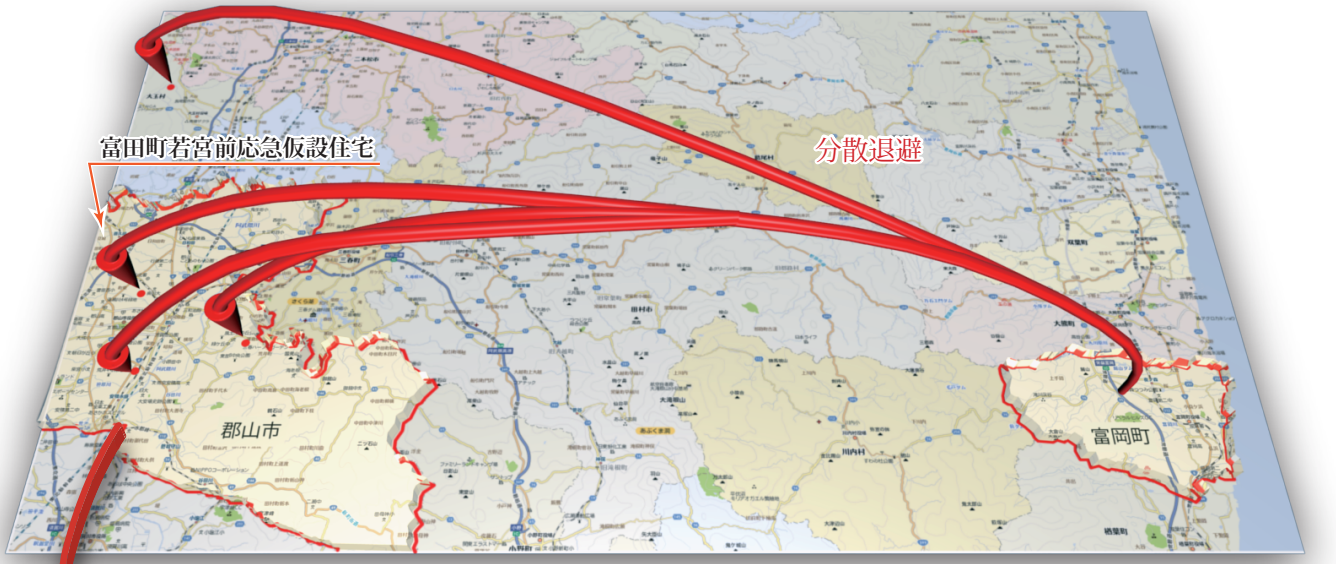
村井敏朗　さん

「かけがえのない命の大切さ、共に助け合い、思いやる心の育成」を若い世代に伝えるための活動”いのちのリレーライブ”を続けるシンガーソングライター。

普天間かおり　さん

沖縄出身のシンガーソングライター。
２００１年より、ラジオ福島の金曜日昼のワイド番組「かっとびワイド」でパーソナリティを担当。
番組放送中に東日本大震災に遭い、以後積極的に支援活動を行っている。

シャトルバスの運行

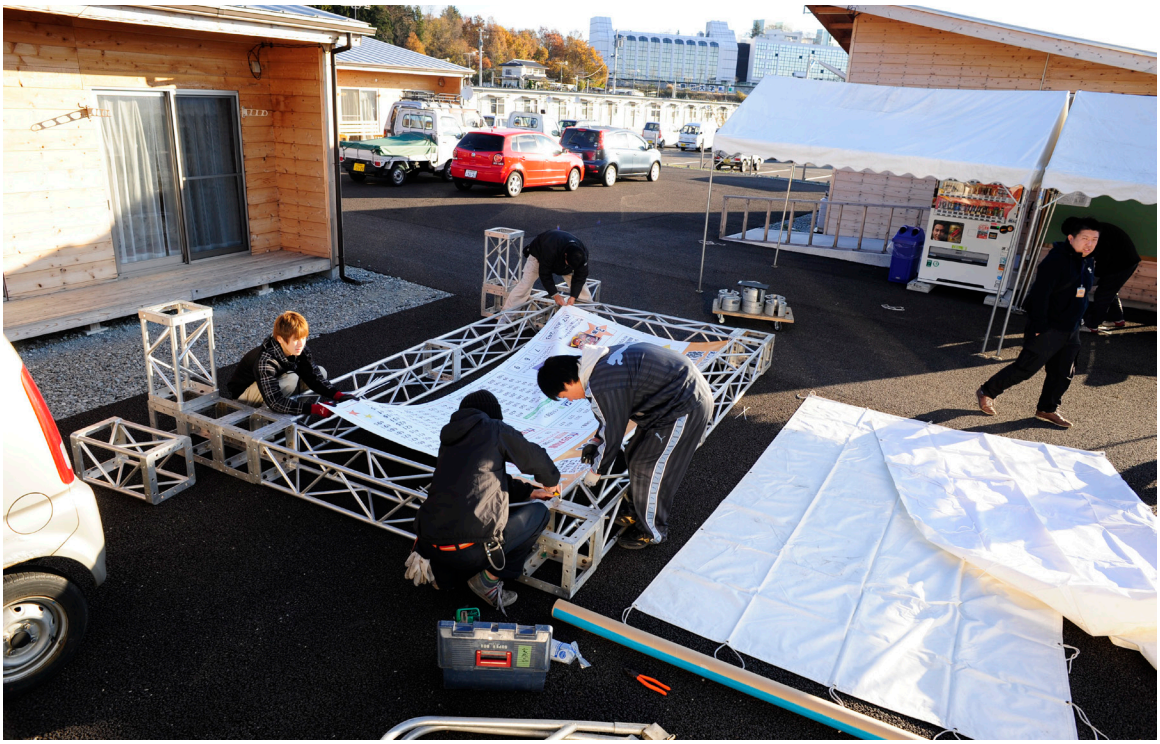


富田町の住民の方々は避難勧告により、富田町若宮前応急仮設住宅以外に、福島県内３ヶ所の仮設住宅に分散して住まわれています。

このため、各仮設住宅より、会場へのシャトルバス２台を運行し、できるだけ多くの方々がお祭りに参加できるよう配慮いたしました。

会場準備

会場設営



会場準備

スタッフミーティング

◀ オカジュウ岡山営業所
&
山佐広告宣伝部
のみなさん

日成仙台販売のみなさん ▶

◀山佐産業仙台営業所のみなさん

会場準備

◀ オカセキ郡山営業所
&
オカセキ仙台出張所
のみなさん

▼ 全員集合

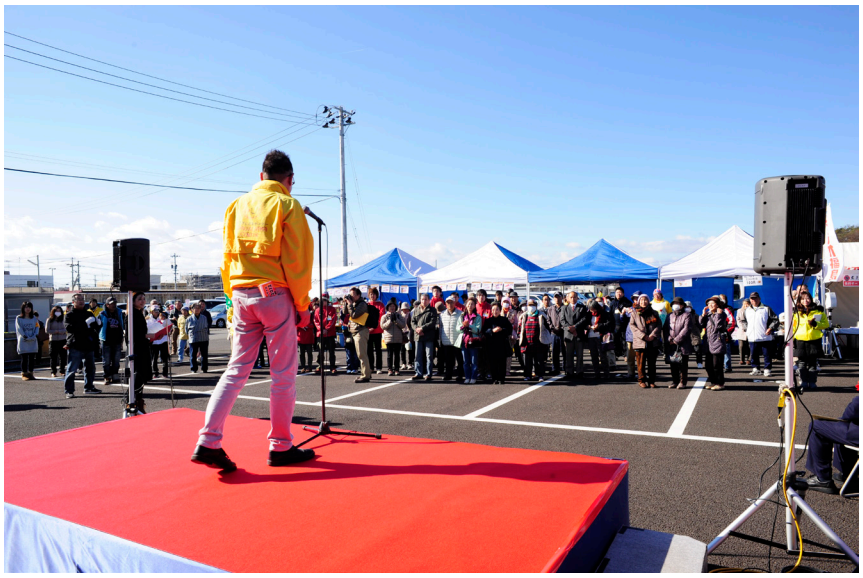
会場準備

屋台セッティング

お祭りの様子

オープニングセレモニー

お祭りの様子



お祭りの様子

お祭りの様子

お祭りの様子

お祭りの様子

おだがいさま センター所長
天野 和彦様

富岡町 富田仮設住宅 自治会長
遠藤　武 様

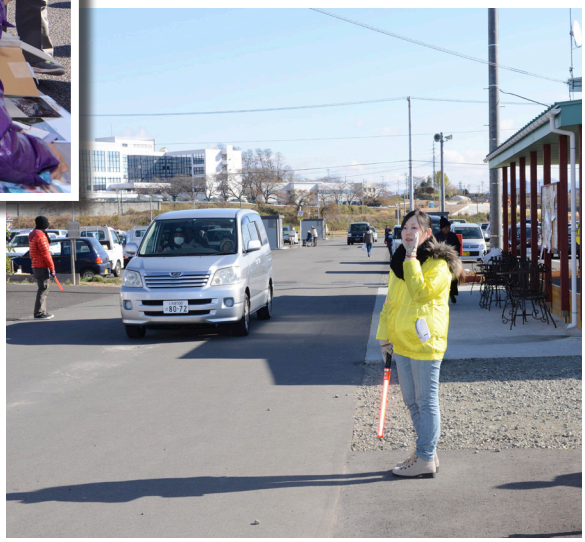
山佐株式会社 執行役員
吉國 純生

福島県富岡町 町長
遠藤勝也 様

福島県川内村 村長
遠藤雄幸 様

お祭りの様子

お祭り会場の様子



お祭りの様子

お祭りの様子

お祭りの様子

富岡町の皆様の作品展示と
足湯サービス

お祭りの様子

おだがいさまFM ON AIR rfcラジオ福島

生放送中

◀ おだがいさまセンター内
おだがいさまＦＭスタジオにて

お祭りの様子

◀ おだがいさまセンター内
▶◀

お祭りの様子

おだがいさまFM ON AIR rfcラジオ福島

生放送中

お祭りの様子

お祭りの様子

おだがいさまFM ON AIR rfcラジオ福島

生放送中

▼▲ 富岡町のテーマソング製作発表

お祭りの様子

▲▼ライブコンサート

お祭りの様子

おだがいさまFM ON AIR 生放送中 rfcラジオ福島

お祭りの様子

お祭りの様子

おだがいさまFM ON AIR rfcラジオ福島

生放送中

お祭りの様子

お祭りの様子

おだがいさまFM

ON AIR

生放送中

rfcラジオ福島

お祭りの様子

フィナーレ

富田踊りの会

エビス様の舞

フィナーレ

えびす講市名物餅投げ　＆　抽せん会

フィナーレ

えびす講市 2012
松げ餅・抽選会 当選番号一覧表
1等
2等
3等
90
12

マルコメ株式会社様 ご提供
お餅に合う『生しょうゆ糀(200g)』
ご自由にお取りください。
お1人につき
1点だケロ！
生しょうゆ糀
えびす講市 2012

フィナーレ

フィナーレ

抽選券
1～250番をお持ちの方
はこちら
抽選券
251～500番をお持ちの方
はこちら

抽選券
251～500番をお持ち
はこちら

フィナーレ

フィナーレ

フィナーレ

▲ シャトルバス

YAMASA AMUSEMENT FACTORY

東日本大震災復興支援活動
『福島・富岡町のテーマソングをつくろう!』応援プロジェクト
「ちぃっちゃなえびす講市2012」で大きく公募!!

▲エビスさまの縁起舞いも披露された

山佐㈱（佐野慎一社長、本社／岡山県岡山市）では、昨年3月11日に発生した東日本大震災で、甚大な被害を被った東北3県に対し、震災直後から復興支援活動を続けているが、この度、福島第一原発の爆発事故により退避勧告が出たまま1年8ヶ月もの長きにわたり自宅に戻れないでいる福島県富岡町の住民に『元気と希望、そして笑顔を贈る』富岡町応援プロジェクトを立ち上げ、11月25日、富岡町の多くの町民が暮らす福島県郡山市富田町若宮前応急仮設住宅内敷地において応援イベントを開催した。

同社プロジェクトチームの16名が現地入りして開催したこのイベントは、富岡町において大正12年から続く伝統行事『えびす講市』のミニチュア版『ちぃっちゃなえびす講市2012』開催と『富岡町のテーマソングをつくろう!』の公募開始発表イベント。

『ちぃっちゃなえびす講市2012』は午前11時にオープニングセレモニーを開始。富岡町・遠藤勝也町長、川内村・遠藤雄幸村長、同応急仮設住宅において情報ステーションの役目を担っている『おだがいさまセンター』所長・天野和彦氏、山佐㈱・吉国純生執行役員統括部長が参列して開会宣言となる“くす玉割り”が行われた。

遠藤勝也富岡町町長

「富岡町の3大行事のひとつである伝統の『えびす講市』が再現され、感激している。山佐様には、私たち町民の苦しさを理解していただき有難い。今日を一つの節目として全員で冨田町に“帰る・変える・カエル”の気持ちを改めて強く持とうではないか」。

遠藤雄幸川内村村長

「こちらの仮設住宅には富岡町のほか、川内村、双葉町の人々が暮らしている。避難生活の苦労はなかなか他人では理解できないが、大変な毎日を送っている皆さんが、少しでも和める一日になることを願っている」。

お祭り会場となった屋外特設会場では、飲食屋台が軒を連ね、放射能検査済みの無農薬野菜や手芸品、カレーライス、甘酒、焼きそば、焼き鳥、フランクフルト、各種飲料のほか、特別参加した国際医療福祉大学（栃木・大田原）の学生らによる水餃子等が販売・配給され、会場を訪れた600人以上の人々は、晩秋の暖かな日差しを浴びながら真心のこもった食べ物に舌鼓を打っていた。また、屋内においては、同仮設住宅内にある川内村の談話室で、カラオケ交流会やボランティア隊による足湯のサービスも行われた。

一方、500軒約1,100人が暮らす同仮設住宅の運営全般において中心的役割を担っている「おだがいさまセンター」内では、災害エフエム局『おだがいさまFM』の放送が正午から1時間のライブ放送を行い、福島県内で抜群な知名度を誇る歌手の普天間かおりさんと岡山から駆け付けたシンガーソングライターの村井敏朗さんがゲスト出演。二人のコラボによる『富岡町テーマ―ソング』の制作発表をPRした。また、午後2時からは共催しているラジオ福島が中継放送を行い、『ちぃっちゃなえびす講市』会場と「おだがいさまセンター」内の特設スタジオからイベントの模様を実況するとともに、山佐㈱・吉国純生執行役員統括部長が出演してイベント開催の経緯と「富岡町のテーマソングをつくろう！」の制作発表を行った。このテーマソングは、富岡町民から富岡の思い出を募り、それらを題材に村井敏朗さんが作曲を、普天間かおりさんが作詞をして、二人のディュオによる想い出の歌をつくろうとするもの。来年3月11日に発表を予定している。

▲ラジオ福島の実況放送では、ゲストの村井敏朗さん（中央）と普天間かおりさん（右）によるトークショーとミニライブも行われた

◀ラジオ福島の中継放送に出演した吉国執行役員（右）

午後3時には、屋外特設会場において「富田踊りの会」と“エビスさま”による踊りや縁起の良い舞いが披露され、フィナーレには、えびす講市恒例の投げ餅・抽選会が行われるなど、来場者全員にホットな一日をプレゼントした。

▲㈱山佐ボランティア隊一同

遊技ジャーナル　２０１３年１月号

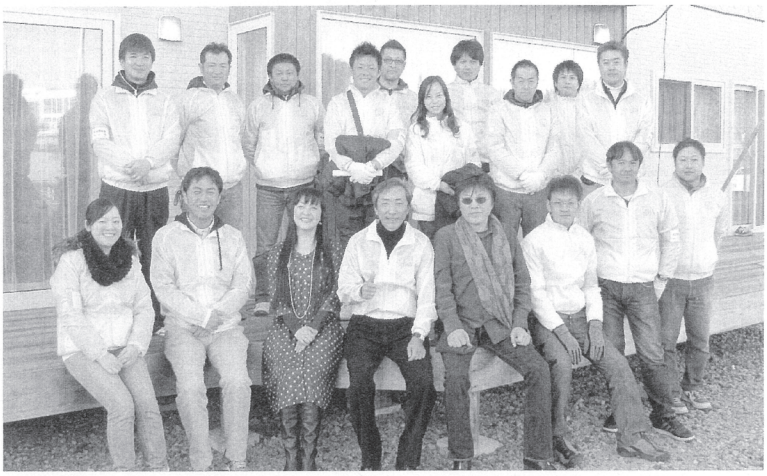
東日本大震災復興支援活動

山佐が支援

福島・富岡町のテーマソングをつくろう！

『ちいっちゃなえびす講市2012』で大きく発表!!

山佐㈱（佐野慎一社長、本社：岡山県岡山市）では、昨年３月11日に発生した東日本大震災で甚大な被害を被った東北３県に対し、震災直後から復興支援活動を続けていたが、この度、福島第一原発の爆発事故により退避勧告が出たまま１年８カ月もの長きにわたり自宅に戻れないでいる福島県富岡町の住民に『元気と希望、そして笑顔を贈る』富岡町応援プロジェクトを立ち上げ、11月25日、富岡町の多くの住民が暮らす福島県郡山市富田町若宮前応急仮設住宅内敷地において応援イベントを開催した。



山佐㈱スタッフ一同とゲストの記念撮影

同社プロジェクトチームの16名が現地入りして開催したこのイベントは、富岡町において大正12年から続く伝統行事『えびす講市』のミニチュア版『ちいっちゃなえびす講市2012』と富岡町の応援ソング『富岡町のテーマソングをつくろう！』の発表イベント。

大黒さまの縁起舞いも披露された

イベントは午前11時にオープニングセレモニーを開始。遠藤勝也富岡町町長、遠藤雄幸川内村村長、天野和彦おだがいさまセンター所長、吉国純生山佐執行役員統括部長が参列して開会のくす玉割りを行った。

ラジオ福島の中継放送に出演した吉国執行役員（右）

屋外特設会場

お祭り会場となった屋外特設会場では飲食屋台が軒を連ね、放射能検査済みの無農薬野菜や手芸品、カレーライス、甘酒、焼きそば、焼き鳥、フランクフルト、各種飲料のほか、特別参加した国際医療福祉大学（栃木・大田原）の学生らによる水餃子等が販売・配給され、会場を訪れた６００人以上の人々は、晩秋の暖かな日差しを浴びながら真心のこもった食べ物に舌鼓を打っていた。また屋内においては、同仮設住宅内にある川内村の談話室でカラオケ交流会やボランティア隊による足湯のサービスが行われた。

ラジオ福島で中継放送

一方、５００軒約１１００人が暮らす同仮設住宅の運営全般において中心的役割を担っている“おだがいさまセンター”内では、災害ＦＭ局『おだがいさまＦＭ』の放送が正午から１時間のライブ放送を行い、福島県内で抜群の知名度を誇る歌手の普天間かおり氏と、岡山から駆け付けたシンガーソングライターの村井敏朗氏がゲスト出演。お二人のコラボによる『富岡町テーマソング』の制作発表がされた。また、午後２時からは共催しているラジオ福島が中継放送を行い、『ちいっちゃなえびす講市』会場と“おだがいさまセンター”内の特設スタジオからイベントの模様を実況するとともに、吉国部長が出演してイベント開催の経緯と「富岡町のテーマソングをつくろう！」の制作発表を行なった。このテーマソングは、富岡町民から富岡の思い出を募り、それらをもとに村井氏が作曲、普天間氏が作詞をして、デュオによる想い出の歌をつくろうとするもの。２０１３年３月11日に発表を予定している。

午後３時には、屋外特設会場において「富田踊りの会」と“大黒さま”による踊りや縁起の良い舞いが披露され、フィナーレではえびす講市恒例の投げ餅・抽選会が行われるなど、来場者全員にホットな一日をプレゼントした。

【吉國執行役員統括部長の話】

「当社が加盟している日本電動式遊技機工業協同組合と回胴式遊技機商業協同組合が共同して行っている東日本大震災復興支援活動において先日、こちらの仮設住宅にカラオケキャラバンバスを置かせていただきました。その際、多くの方々が利用してくださっている光景を視察し、歌がもつ大きな力を実感しました。そうしたことから、私たちにできることとして、全国に散らばった富岡町の方々に富岡を忘れない、富岡町のテーマソングをつくろうとなったのです。また、この企画を準備している中で、広く町民の楽しみになっている『えびす講市』を知り、同時にこの再現もすることを決定、本日を迎えました」

概　要

おだがいさま ライブ フェスティバル

～富岡町支援ソング発表～

平成25年3月2日（土）　13:00～15:00

支援ソング発表～ライブフェスティバル～

震災直後から続けている復興支援活動の一つとして、震災以来　分散して避難することとなってしまった富岡町の方々の心を一つにし、復興への支えとなるべき支援ソングの発表を、多くの方々の協力を得て迎える事が出来ました。

おだがいさま寄席ライブ
宮脇健トークショー

この日のイベントでは会津若松市出身の落語家、三遊亭圓福さんのミニ寄席を開催。
またサプライズゲストとして『ケンちゃん』でお馴染みの宮脇健氏によるトークショーを開催致し、涙あり、笑いありのひとときを過ごしていただきました。

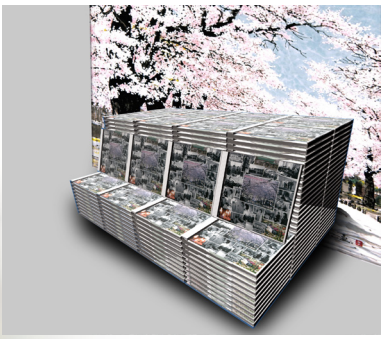
ラジオ福島・生放送

　富岡町支援ソングの発表の模様を生放送で中継いたしました。
　公募によって寄せられた故郷への想いは、作詞担当の普天間かおりさんによって、富岡町の桜の名所・夜の森公園の美しい情景をイメージした歌詞へと綴られ、故郷への想いが溢れ出んばかりの仕上がりとなりました。
　作曲担当の村井敏朗さんの奏でる、桜の美しさ・香り・季節感・想い出をイメージして製作された楽曲と合わせ、富岡町の皆様に口ずさんで頂ける仕上がりとなりました。

来場者プレゼント

　おだがいさまセンターに足を運んでいただいた方全員に、ケロット貯金箱と桜餅をプレゼント致しました。

ＣＤ寄贈



　郡山市の墨彩画家、橋本広善さんの手がけたジャケットに包まれた、支援ソング『桜舞う町で』のＣＤを、おだがいさまセンターに２００枚を寄贈させて頂きました。

リハーサル

おだがいさまライブフェスティバル
富岡町復興応援ソング～桜舞う町で～完成発表
主催／富岡町生活復興支援センター・山佐株式会社・rfc ラジオ福島

おだがいさまライブフェスティバル

おだがいさまライブフェスティバル
富岡町復興応援ソング～桜舞う町で～完成発表
山佐株式会社・rfc ラジオ福島

おだがいさまライブフェスティバル
富岡町復興応援ソング～桜舞う町で

ライブフェスティバル開始

おだがいさまFM　ON AIR　rfcラジオ福島

おたがいさまライブフェスティバル

おたがいさまライブフェス
富岡町復興応援ソング～桜舞う町で～完成発
町生活復興支援センター・山佐株式会社

主催／富
復興支援セ

ライブフェスティバル

おだがいさまFM ON AIR rfcラジオ福島

富岡町復興応援ソング～桜舞う町で～
rfc ラジオ

おだがいさまライブフェスティバル
富岡町復興応援ソング～桜舞う町で～完成発表
YAMAHA

ライブフェスティバル

おだがいさまFM ON AIR rfcラジオ福島

富岡町復興応援ソング～桜舞う町で～完成発表

おながいさまライブフェスティバル
富岡町復興応援ソング～桜舞う町で～完成発表
関係者以外
立ち入り禁止

ライブフェスティバル

おだがいさまFM ON AIR rfcラジオ福島

ライブフェスティバル
興応援ソング～桜舞う町で～完成発表
山佐株式会社・rfc ラジオ福

おだがいさま
富岡町復興応援ソング～桜舞う町で～完成発表

ライブフェスティバル

おだがいさまFM ON AIR rfcラジオ福島

がいさまライブフェスティバル
富岡町復興応援ソング～桜舞う町で～完成発表
富岡町生活復興支援セ
佐株式会社・rfc ラジオ福島

ライブフェスティバル

おだがいさまFM ON AIR rfcラジオ福島

ライブフェスティバル

おだがいさまFM ON AIR rfcラジオ福島

フェスティバル
町で～完成発表
山佐株式会社・rfc

おだがいさまライブフ
富岡町復興応援ソング～桜舞う町で～
主催／富岡町生
ンター・山佐株式

フィナーレ

おだがいさまFM ON AIR rfcラジオ福島

フィナーレ

ダウンロードサービス

当初、先着 10,000 ダウンロードでしたが、大好評につき 20,000 ダウンロードまで追加されました。

▼ ラジオ福島のホームページ

福島県富岡町復興応援ソング「桜舞う町で」

無料 大好評につき追加10,000ダウンロード
先着合計20,000ダウンロード実施中

※ダウンロード数が２万回を超えると終了になります。

東日本大震災から２年ー福島の復興はまだまだ進まない現実があり、東京電力福島第１原子力発電所事故に伴い避難を余儀なくされた人々の故郷への思いは、益々つのるばかりのことと思われます。
そこで弊社では、山佐株式会社の特別協賛をいただき、富岡町の皆さんの故郷への思いを元に復興応援ソングを制作致しました。
これは、富岡町をはじめ、避難されている浜通りの方々すべてに思いを寄せて、その故郷への思いを共有しようとするもので、作詞を震災当日に福島で被災した普天間かおりさんが担当、作曲を震災発生後様々なボランティア活動をしているシンガーソングライターの村井敏朗さんが担当しました。
まだまだ大変厳しい生活を余儀なくされている皆様へのひと時の心の憩いとなれば幸いです。

JASRAC 許諾番号：9009879003Y3007

Licensed by JASRAC

株式会社ラジオ福島

＜プロフィールと制作背景＞

普天間かおり

沖縄県出身。琉球王朝の流れに生まれる。
2002 年、シングル「髪なんか切ったりしない」でテイチクよりメジャーデビュー。
3 月 11 日、ラジオ福島での生放送中に東日本大震災に遭う。その後、「smile Again 0311」支援プロジェクトを立ち上げ、避難所でのライブやチャリティーコンサートの開催、震災後に書き下ろした楽曲「smile Again」を音楽配信し、その収益の中から義援金へ寄付したりと精力的に支援活動を始める。

村井敏朗

兵庫県出身。ライブ活動を続ける中、第 13 回世界臓器移植者スポーツ大会 in ジャパンメインテーマソング「HERO ー命のリレー」や障害者支援団体の応援ソングや様々なイメージソングなどを手がける。
現在は「命のリレーライブ」と題して全国でチャリティーライブなどを実施している。

「桜舞う町で」制作背景

福島県富岡町生活復興支援センター「おだがいさまセンター」から放送されている「おだがいさま FM」。
県外に避難されてる多くの皆様の心に故郷を共有できる歌が作れないかとの想いから、おだがいさまセンター、ラジオ福島そして山佐株式会社による「富岡町復興応援ソングプロジェクト」が発足。
普天間かおりさんと村井敏朗さんによる楽曲作 2012 年 11 月、富田町若宮前仮設住宅で実施された「ちっちゃなえびす講市」よりスタート。
各仮設住宅から故郷の想い出を募集し、それを普天間さんが詩を作り、村井さんの曲にのせて、この歌が出来上がりました。
そして、2013 年 3 月 2 日（土）、震災から丸 2 年を直前にして福島県のみならず県外に避難されているすべての方に故郷が届くようにと「桜舞う町で」が発表されました。

福島県富岡町復興応援ソング

「桜舞う町で」

作詞：普天間かおり
作曲：村井敏朗
編曲：荒木陽太郎

春は夜の森　花爛漫に　桜のトンネルをぬけて
夏燃えさかる宵の火祭り　掛け声に高鳴る鼓動
桜舞う町で　あなたに会いたい
潮騒聞きながら　やさしい夢を見たい
遠く離れても　季節は巡れども
私のふるさとは　今も胸に鮮やかに

浜通りから昇る朝陽に　輝く生命の息吹
秋の紅葉を染める夕焼け　白鳥が冬を運んだ
桜舞う町で　あなたに会いたい
星の降る夜に　そっと願いかけて
小さな蕾よ　芳しく咲き誇れ
ひたむきに生きる美しさを忘れない

桜舞う町で　あなたに会いたい
潮騒聞きながら　やさしい夢を見たい
広がる青空　ふるさとへ続いてる
一歩また一歩　力強く　前を向いて

愛するふるさと
愛する福島
ずっと　この胸に・・・

週刊アミューズメントジャパン　3月11日号

山佐 復興応援ソングに協賛

福島県郡山市で発表イベント

山佐が特別協賛した、復興応援ソング『桜舞う町で』の制作発表会『おだがいさまライブフェスティバル～富岡町応援ソング発表～』が3月2日、福島県郡山市の若宮前応急仮設住宅内『おだがいさまセンター』で開催された。

復興応援ソングの製作は、原発事故によって避難生活を続けている福島県富岡町の住民に「元気と希望、そして笑顔を贈る」ことを目的に立ち上げた応援プロジェクトの一環。富岡町民から富岡の思い出を募り、それらを基に、シンガーソングライターの村井敏朗さんが作曲を、福島県内で抜群の知名度を誇る歌手の普天間かおりさんが作詞した。

当日は村井さん、普天間さんがラジオ福島の公開生中継に出演し、ライブで『桜舞う町で』を熱唱したほか、山佐・開発推進部の大沼隆之課長が富岡町生活復興支援センター『おだがいさまセンター』の天野和彦センター長にCD200枚を贈呈した。

大沼課長は会場に集まった富岡町民に対し、「この歌が心の支えとなり、多くの人々に口ずさんでいただけることを願っています。弊社はこれからも東北の地を思い続け、東北の人とともに寄り添って行きたいと考えています」と呼びかけた。

普天間さん（左）、村井さんが『桜舞う町で』を熱唱

山佐の社員18名がイベントをサポート

活動が紹介されました

遊技ジャーナル　２０１３年４月号

山佐 震災復興支援プロジェクト

富岡町（福島県）応援ソング「桜舞う町で」発表会

おだがいさまライブフェスティバル

山佐の社員と富岡町の皆さんとの記念撮影

作詞の普天間かおりさん（左）と作曲の村井俊朗さん

午後2時からのラジオ福島「かっとびワイド」に普天間さんと村井さんがライブ出演し「桜舞う町で」の発表を行なった

山佐㈱は3・11被災直後から続けている震災復興支援プロジェクトの一つとして、3月2日、原発事故により帰還困難となっている福島県富岡町民が、故郷への思いを共有する復興応援ソングの制作発表会を、郡山市の若宮前仮設住宅の「おだがいさまセンター」で開催した。

曲名は「桜舞う町で」。富岡町のシンボルでもある桜の名所・夜の森公園の美しい情景をイメージしている。作詞を担当した普天間かおりさんは「たくさんの人に歌詞のアドバイスをいただきました。桜咲く町の美しさを綴ったメッセージが最も多かったので桜をメインにしました。この歌を大切に育て、今年の大みそかは皆でＮＨＫホールに立ちたいですね」と語った。

「桜舞う町で」のCD

会津若松市出身の三遊亭圓福さんの高座

作曲を担当した村井俊朗さんは「桜の奏でる美しさや、ほのかな香り、季節感、遠い昔の思い出をイメージしながら、その中に力強く生きることの応援になるよう時間を費やしました。紅白はここにいるみんなと出場しましょう」と呼び掛けた。

この日のイベントでは「桜舞う町で」の発表の他、村井さんと普天間さんのソロライブが行われた。さらに、会津若松市出身の落語家、三遊亭圓福さんの高座やサプライズゲストとして「ケンちゃん」こと宮脇健さんも友情出演し村井さんとの軽快なトークショーを行なうなど、約3時間の笑いあり涙ありの触れ合いのひとときを過ごした。

当日、山佐からは18名の社員スタッフが応援にかけつけ、会場の整理からお土産物の配布まで休むことなく裏方の仕事に汗を流していた。山佐広告宣伝部の大沼隆之さんから「おだがいさまセンター」の天野和彦センター長に「桜舞う町で」のＣＤ２００枚が贈呈された。大沼氏は「こうした支援活動の企画に携われたことに感謝しています。『桜舞う町で』が町民の方とその心の支えとなり、多くの人々に口ずさんでもらえることを願っています。当社は今後も東北の人たちとともに寄り添っていきたいと考えています」と語った。

活動が紹介されました　♪ライブフェスティバル

福島民報　3月2日　掲載

復興応援ソング完成

rfcと富岡町復興支援センター

きょう郡山から生放送

大震災と原発事故を乗り越えて…と美しい情景を歌い、ラジオ福島（rfc）と富岡町生活復興支援センター「おだがいさま」が制作を進めていた復興応援ソング「桜舞う町で」が一日完成した。

避難している浜通り住民の故郷への思いを共有する曲。各地の仮設住宅に暮らす富岡町民から寄せられた投書を元に、シンガー・ソングライターの普天間かおりさんが作詞した。シンガー・ソングライター村井敏朗さんが作曲し二人が歌う。

△春は夜の森　花燃漫に　桜のトンネルをぬけて…

一般発売せず、さまざまな番組の中で紹介していく。

福島民報　3月3日　掲載

復興応援ソング披露

郡山

rfc、富岡の有志制作

「桜舞う町で」を披露する普天間さん（左）と村井さん

ラジオ福島（rfc）まごころセンター「おだがいさま」が制作した復興応援ソング「桜舞う町で」は二日、郡山市の同センターでお披露目された。

町民から寄せられた言葉を基に、シンガー・ソングライターの普天間かおりさんが作詞、村井敏朗さんが作曲を担当。この日はセンター内で開かれた「おだがいさまライブフェスティバル」のラジオ福島の生放送で二件人が発表した。普天間さんは「この曲が皆さんの復興につながってほしい」と話し、村井さんは「希望を持ってください」と手掛けた郡山市の墨彩画家の橋本広喜さんらも出演した。

男町教育長が「素晴らしい歌。町の思いを共有してくれた」とお礼を述べた。市内の仮設住宅に避難する芳賀ユリ子さん（六二）は「古里を思い浮かべ、感激した」と喜んだ。

楽曲は三日午前零時からラジオ福島のホームページ上でダウンロードできる。先着一万件。CDは一般発売せず、さまざまな番組の中で紹介していく。

読売新聞 / 福島県版　3月3日　掲載

31　地域　福島 13版　2013年（平成25年）3月3日（日曜日）

福島

♪花燃漫に 桜のトンネルをぬけて…

富岡応援ソング 仮設で披露

郡山

原発事故で全町避難が続く福島県の町民を応援しようと、富岡町の町民への復興応援ソング「桜舞う町で」が完成。二日、郡山市の仮設住宅で開かれた「おだがいさまライブフェスティバル」で披露された。

この日、作詞作曲の2人が富岡町の復興応援ソングに込めた思いや、その後被災者を励ますデュエットで歌を披露するプロジェクトを紹介してチャリティー活動などをしている。

2日、郡山市の仮設住宅地にある避難者同士の交流の場「おだがいさまセンター」で、富岡の風景に「桜のトンネルをぬけて」の歌詞に集まった約100人の町民らに披露された。

＊

普天間かおりさん　村井敏朗さん

企画、昨年、同センターに「から始まり、「辛さ福島が仮設住宅の集会所などに置いている募集し、その内容を反映。めぐる。町民から寄せられ「ずっと、この胸に」で締ていただれもシンガー・ソングライターの普天間かおりさん作曲した。普天間さんは「ラジオ

朝日新聞 / 福島県版　3月3日　掲載

朝日新聞

♫桜舞う町で あなたに会いたい♫

富岡に捧げる歌声

生放送中に震災 歌手・普天間かおりさん新曲

故郷への思い 町民から募り代弁

ラジオ福島の生放送中に東日本大震災に遭ったシンガー・ソングライター普天間かおりさん（39）が、富岡町に贈る新曲「桜舞う町で」を発表した。町民から募った町の思い出を歌詞で表し、2日に行った同局の特別生放送番組で、被災富岡と疎開の人たちの故郷への思いを歌で代弁した。

♫春は夜の森　花燃漫に　桜のトンネルをぬけて　夏は夜の森　蛍燃えさかる　宵の火祭り　掛け声に高鳴る鼓動　桜舞う町で　あなたに会いたい♫

普天間さんは沖縄出身だが、11年前から同局でレギュラーを抱えるほか、裏磐梯観光大使を務めるなど「第二の故郷」と言うほどの情感たっぷりに「桜舞う町で」を歌う普天間かおりさん（左）と村井敏朗さん（郡山市在住）

福島県。震災後も避難所でのミニライブなど精力的に支援活動を続けてきた。

もう一度、夜の森の桜並木を歩きたい――。富岡町民の生活支援に取り組む郡山市の「おだがいさまセンター」が町への思いを募ると、210通ものメッセージが寄せられた。それを基に普天間さんが作詞、作曲は兵庫県出身で被災者支援に取り組んできたシンガー・ソングライター村井敏朗さん（57）が手を挙げた。

♫潮騒聞きながら　やさしい夢を見たい　遠く離れても　季節は巡れども　私のふるさとは　今も胸に鮮やかに♫

桜や海、そして空、町民が誇る美しい故郷への愛を込めた。

スローで優しいテンポの約5分。普天間さんは歌い終えると「こんな曲になりました。いかがでしたか」と問いかけた。会場を埋めた100人超からは拍手が鳴りやまなかった。（小沢邦男）

神戸新聞　3月24日　掲載

神戸新聞

（第3種郵便物認可）

つなぐ　東日本大震災

いつか帰ろう 桜舞う福島へ

全町避難の富岡町応援歌

加古川出身 村井さん作曲

東日本大震災の影響による福島第一原発事故で全町避難が続く福島県富岡町の人々を励まそうと、加古川市出身の村井敏朗さん（57）と、沖縄県出身の普天間かおりさん（39）のシンガー・ソングライター2人が復興応援ソング「桜舞う町で」を作った。（富岡雅人）

避難生活で全国に離散した町民のふるさとなう、地元のラジオ福島と、多くの町民が避難生活を送る福島県郡山市の仮設住宅地内にある集会施設「おだがいさまセンター」などが企画。避難町民らから故郷の思い出を募って普天間さんが作詞、村井さんが作曲した。

村井さんは、2001年に日本で初めて開かれた「世界移植者スポーツ大会」の公式「会歌を作る」と「いのち」をテーマに全国で歌い続ける。

普天間さんは、パーソナリティーを務めるラジオなどに寄せられているという励ましの声や問い合わせが全国から寄せられているという。

「避難中の人々にはあきらめずに希望を持ち続けてほしいというメッセージになれば」と村井さん。普天間さんは「被災地の方々の2年間の苦労は、ひたむきに咲く桜の美しさに重なる。町民の心をつなぎ、全国の方々に東北への思いを寄せ続けてもらえる歌になればうれしい」と話している。

歌詞には、春に見事な花のトンネルを造る桜並木や、夏の火祭り、浜通りから移る朝日などの情景が織り込まれ、ふるさとに帰りたい切に願う住民の心が美しい旋律に乗せて歌われる。

歌は、ラジオ福島のホームページで先着2万回まで無料でダウンロードできるようになっており、連日数百件のアクセス。

避難住民らを前に、富岡町の復興応援ソング「桜舞う町で」を披露する普天間かおりさん（左）と村井敏朗さん＝福島県郡山市の「おだがいさまセンター」

桜舞う町で
桜舞う町で

▲ ２０１３年３月２日　おだがいさまセンター内にて

rfcラジオ福島

YAMASA
AMUSEMENT FACTORY

2013. 4